

## 「ご当地」をテーマにした郷土料理弁当を隔月でお届け。クッキーやハーブティーのご寄付も。

聖路加国際病院の小児病棟へのお弁当配布は3年目になり、今期も隔月奇数月にお届けしました。毎回、季節を感じられる飾りを添えたメニューカードを手作りしています。

病院で長期にわたって付き添い看護をしていると、遠出することも難しくなります。そこで、食事をする時間だけでも旅行気分を味わってもらえたら…という思いから、今期は調理するお弁当のテーマを「ご当地」に設定しました。

沖縄県を皮切りに福岡県、和歌山県をテーマに郷土料理のお弁当を作りました。和歌山県の回では、**白浜町役場**のかたが呼びかけてくださって、地元の生産者の皆さんから「アジの干物」「ほうじ茶(川添茶)」「梅干し」「ぽんかん」「柚もなか」といった食材をご寄付いただきました。このほかの寄付では**株式会社ケアコム**様より自社農園で無農薬栽培したお米をいただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で通常のお弁当を提供することができなくなった3月は、常温保存が可能なミールdeスマイリング缶とパンをお届けしました。

この回では**お菓子研究家の牟田彩乃様**より、文京区・千駄木にあるストレル洋菓子店

「PRIMROSE」のクッキーとハーブティーをご寄付いただきました。おかげさまで途切れることなく、食支援ができましたことを感謝申し上げます。

